

## 障がいのあるアーティストとの出会いと対話から生まれる唯一無二のアート&プロダクト 障がい者アートコラボプロジェクト 始動!!

### 第一弾、TKF 認証企業が既存のアート作品を洋服に落とし込み、新しい価値のプロダクトを創出

東京ニットファッション工業組合（東京都墨田区、理事長：深澤隆夫、以下 TKF）※1 は、障がいのあるアーティストの才能と日本の伝統技術を掛け合わせて、唯一無二のアートとプロダクトを生み出す「障がい者アートコラボプロジェクト」に参画します。

障がいのある方々の中には、絵画や造形物を制作するなど、表現活動に秀でた人たちが存在します。

彼等が生み出す作品を「生の芸術」「正規の美術教育を受けていない人による芸術」「既存の美術潮流に影響されない表現」などを意味する「アール・ブリュット」という芸術のジャンルとして少しずつ認められるようになりました。

近現代美術のコレクションとしてはヨーロッパ最大のフランス国立のポンピドー・センターには「アール・ブリュット」の常設展示コーナーが開設されました。世界的に著名なアール・ブリュットのコレクター、ブリュノ・デシャルム氏のコレクションから、242人・約1000点が寄贈されており、日本のアーティストの作品も収蔵されています。

豊かで純粋な才能に出会い、感動し、アーティストをもっと知りたくなる。そして彼らとの対話を通じて障がいを知り、彼らの人間性を知り、そして更に彼らのファンになっていく。障がいは特別なものではなく、日常にあり、それは社会全体で享受・配慮し、誰もが自分らしくいられる「共生社会」を目指したい。

また、世界に誇る日本の伝統技術が障がいのあるアーティストの作品をモチーフに更に魅力のある1点モノのプロダクトを創出。伝統技術もアートも両方が活きる。そんな想いで、「障がい者アートコラボプロジェクト」はスタートしました。

#### ■ 第一弾は東京ニット工業組合とのコラボレーション

「障がい者アートコラボプロジェクト」の第一弾として、2月16日（金）17時～19時、渋谷の「TRUNK (HOTEL) CAT STREET MORI」にてZ世代のインフルエンサーがモデルとしてランウェイに登場するファッションショー、「TOKYO LOVE KNIT」にて、TKF 認証企業が障がい者アートを洋服に仕立てた作品をお披露目いたします。

#### <TKF×「障がい者アートコラボプロジェクト」ステイメント> 【TKF×「障がい者アートコラボプロジェクト」プロトタイプ】（敬称略）

## アートを編め アートを纏え

### 障がい者アーティスト meets TOKYO KNIT

障がい者アーティストと TOKYO KNIT のコラボレーション。

枠にはまらない才能を持つアーティストと優れた技を持つ職人が出会う。

彼らのアートが世界で一つのニットへと編まれていく時、創作に新しい生命が宿る。

纏う人と共に輝く時、ファッションとして時代の中に解き放たれる。

私たちは共創と共生から生まれる新しいアートの可能性に挑む。

アーティスト、職人、そして社会が、アートを起点に新しいつながりを手にして

共に生きていける社会を目指していく。

アートを編め。

アートを纏え。

その先に広がる、無限の創造力を開花させよう。

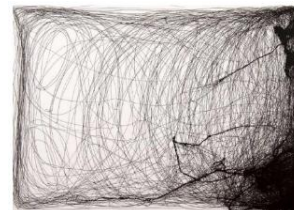
それはきっと、都市と生活にまだない感動と活力を生み出し、

未来に継承される文化になっていくはずだから。



- ◇アーティスト: カミジヨウミカ
- ◇作品: 2007 うじゃうじゃうじゃ
- ◇コラボ企業: 株式会社川島メリヤス製造所
- ◇製品: ジャガードブローカー・パンツ

●コラボ企業コメント: 株式会社川島メリヤス製造所 川嶋 和良  
障害者のあるアーティストの作品を見せて頂いた時に、カミジヨウミカさんの作品にインスピレーションが湧き、弊社の12色ゴムジャカード編みに適していると感じました。実際にプログラムを組んで編んでみたところ思った通りの編地に出来上がりました。今後もプロジェクトに参加させて頂きたいと思っております。



- ◇アーティスト: 柴田鋭一
- ◇作品: artisst01\_0240\_eiichishibata04-2
- ◇コラボ企業: 百瀬繊維株式会社
- ◇製品: ノーカラージャケット・パンツ

●コラボ企業コメント: 百瀬繊維株式会社 百瀬 勇一  
生地やアート作品の選定もすべて自由に出来、大変、取り組みやすいプロジェクトでした。しかも柴田鋭一さんの作画が繊細でシャープでクールなので、弊社の得意とするメンズのノーカラージャケットやパンツの相性がよく、満足のいく作品となりました。この作品が、ファッションショーでどのような評価を受けるかわかりませんが、作り手として、大変やりがいのある作品になりました。有難うございました。

**【TKF×「障がい者アートコラボプロジェクト」について】**

「TOKYO LOVE KNIT」では6点をZ世代がモデルとして着用し、原画の魅力とは違った個性豊かな洋服として異彩を放ちながらランウェイを歩きます。

「シブヤフォント」などで障がい者アート領域で実績のある株式会社フクフクプラス（共同代表 磯村歩、福島治、高橋圭）（<https://fukufukuplus.jp/>）が、アーティストとのマネジメントを担当します。

「TOKYO LOVE KNIT」ではプロトタイプとして、既成のアート作品を洋服に落とし込んでおりますが、今後はオリジナルブランドを立ち上げ、オーダーによる書き下ろしのアート作品と1点モノの洋服をセットにした今までに無い新しい障がい者アートの価値を提供する予定です。

**【TKF×「障がい者アートコラボプロジェクト」プロトタイプ】（敬称略）**



◇アーティスト:カミジョウミカ  
◇作品:人ひとヒトだらけだよ(上)、2012  
つねに強気だがほどよく色っばい  
火星人(下)  
コラボ企業:株式会社ズーム  
製品:ドルマンスリーブTシャツ

●コラボ企業コメント:株式会社ズーム 加々村 征  
今回のコラボレーションは、社会貢献という点で我々の仕事に更なる価値をもたらすだけでなく、我々の技術力向上にも大いに寄与しています。このような意義深いプロジェクトに参加できたことを誇りに思います。



◇アーティスト:柴田鋭一  
◇作品:artist01\_0233\_eiichishibat  
◇コラボ企業:伊東メリヤス工業株式会社  
◇製品:ジャガードフード付きジャケット

●コラボ企業コメント:伊東メリヤス工業株式会社 伊東 敏明  
今回取り組んだ柴田鋭一さんのアート作品は、繊細かつ大胆な構図で、それを服で再現出来るディテールは何かと悩みましたが、結果的にポケットやダーツなどのテクニックは使わず、作品のパワーが伝わる様に、シンプルなフード付きジャケットをビックサイズに仕上げました。



◇アーティスト:カミジョウミカ  
◇作品:みんなの手がよぶエスディージーズ  
◇コラボ企業:有限会社オフィスホドタ  
◇製品:Tシャツ(上)、パッチワークTシャツ(下)

●コラボ企業コメント:有限会社オフィスホドタ 程田 裕平  
障害のある方の描かれたアートが素晴らしく、そのアートを使用した洋服を作らせて頂いたことが光栄です。初めは障害のある方の支援という気持ちで参加させて頂いておりましたが、プロジェクトが進むにつれ、相互で価値を出して素晴らしいものを作りたいという気持ちになりました。



◇アーティスト:カミジョウミカ  
◇作品:みんなにでかい木にやさしいエスディージーズ(上)  
2007 うじゃうじゃうじゃ(下)  
◇コラボ企業:丸和繊維工業株式会社  
◇製品:カットソーYシャツ

●コラボ企業コメント:丸和繊維工業株式会社 深澤 信敬  
「作品への敬意」を一番に考え試行錯誤を繰り返して出来上がった製品は、見る人が笑顔になるような素敵な仕上がりととなりました。今回の取組は自社の成長につながる大変貴重な機会でした。素敵なお縁をいただき感謝しております。

＜報道関係者様からのお問い合わせ先＞

■障がい者アートコラボプロジェクト PR 事務局：(株)SYNCA 担当 大柳、久保 TEL.03-4291-3344 press@syncagr.com



## ■「TOKYO LOVE KNIT」参加アーティストプロフィールとサンプル制作にご協力いただく作品

### 【カミジョウミカ Mika Kamijo】

19歳時に、常染色体劣性遺伝性疾患のため入院していた病院のスタッフの顔をデフォルメし独学で描き始める。描いているテーマは「カラフルな空想の世界」と「夢の世界」。

#### ●個展

2004年 imagination カミジョウミカ展（長野県軽井沢町）初個展。以降、県内外で個展を開催。

#### ●賞歴

1998年 長野オリンピックアートパラリンピック公募展街かど賞。以降、絵画コンテストにてグランプリ・優秀賞・特別賞・佳作・入選。

#### ●グループ展

2003年 アート村第9回 デザイン大賞作品展（東京都）。以降、県内外、韓国、ニューヨークでグループ展に参加。

#### ●制作・その他

2014年 テレビ朝日『ポータル ANN ニュース&スポーツ』タイトルイラスト作品制作

2018年 FOOD&TIME ISETAN YOKOHAMA（横浜駅西口）フードコート壁画常設展示

2020年 第1回アートパラ深川おしゃべりな芸術祭（東京都江東区）メインビジュアルを担当

2022年 ユニバー・ジャパン「あしたにエール！キャンペーン」2022メインビジュアル採用

2023年 大和ハウス工業「ミライマチアート」絵画制作

### <サンプル制作にご協力いただく作品>



人ひとだらけだよ



2007 うじゃうじゃうじゃ



みんなにでかい木にやさしいエスディーゼー



2012 つねに強気だがほどよく色っぽい火星人



2008 うちゅうじん



2001 昨日見た夢



みんなの手がよぶエスディーゼー

### ・カミジョウミカ 氏より

私は19歳時、常染色体劣性遺伝性疾患のため入院していた病院のスタッフの顔をデフォルメして独学で描き始めました。それから28年の時間を創作活動メインで過ごしています。眠っている時に見る夢を作品にするのでこれからたくさん夢をみたいです。

## 【柴田 鋭一 Eiichi Shibata】

1970 年生まれ。柴田さんにとってはもはや描く行為自体が気持ちの良いこと、そして落ち着かない時に自らを安定させるものとなった。永遠の謎である“せっけんのせ”を 25 年以上描き続けるベテランは、海外のアートフェアでも注目され、ニューヨークで行われた初個展で作品を完売させた。

そんな快挙にも本人はどこ吹く風、至ってマイペース。言葉遊びを楽しみながら、仲間や職員、皆から人気者。

### ● 作品収蔵

ポンピドー・センター／ジョルジュ・ポンピドー国立芸術文化センター（フランス）

### ● 主な展覧会歴

2012 年 柴田鋭一「せっけん」小出由紀子事務所（東京都）

2013 年 OUTSIDER ART FAIR 2013 Center 548（アメリカ・ニューヨーク）

2014 年「ポコアート受賞者展」アーツ千代田 3331（東京都）

2014 年「SOAP」柴田鋭一 個展 Yoshi Gallery（New York）

2014 年「Outsider Art Fair」Paris Hotel le A（フランス・パリ）

2014 年「art brut: collection abcd/ Bruno Decharme」Maison Rouge（フランス・パリ）

2014 年「集まる工房集展」もうひとつの美術館（栃木県）

2015 年「Outsider Art Fair」New York Center 548（New York）

2015 年「Le Salon du Dessin Contemporain」Le Salon du Dessin Contemporain（フランス・パリ）

2015 年 Art Brut Live – abcd collection/ Bruno Ducharme Center for Contemporary Art（チェコ・プラハ）

2015 年「dRaw」展 INTUIT（Chicago）

2016 年「outsider art fair 2016」Metropolitan Pavilion（アメリカ・ニューヨーク）

2018 年「Art Brut from Japan, Another Look」アール・ブリュット・コレクション（スイス）

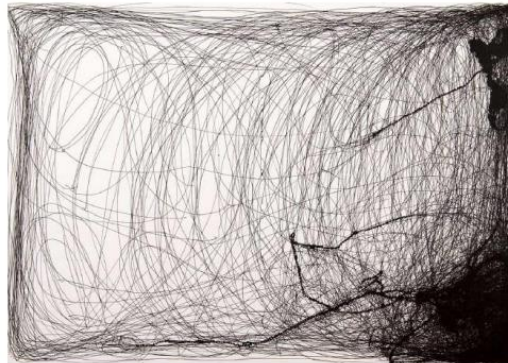
2018 年「繰り返しの極意」もうひとつの美術館（栃木県）

2019 年「Art Brut from Japan, Another Look」アールブリュットコレクション（スイス・ローザンヌ）

<サンプル制作にご協力いただく作品>



artist01\_0233\_eiichishibat



artisst01\_0240\_eiichishibata04-2

<プロジェクトに参加・協力する TKF 認証企業>

- ・株式会社ズーム (<https://zoomproject.co.jp/>)
- ・伊東メリヤス工業株式会社
- ・株式会社川島メリヤス製造所 (<https://www.kawashima-knit.com/>)
- ・有限会社オフィスホドタ (<http://ofhodota.com/>)
- ・百瀬繊維株式会社
- ・丸和繊維工業株式会社 (<http://www.maruwa-tex-ind.co.jp/>)

### ・柴田鋭一 氏が所属する施設「工房集」より

柴田さんにとって、絵を描くことは生活の一部であり、心落ち着ける行為になっています。自分の作品が売れることや展示されることなどに全く興味を示しません。柴田さんのお陰で、このような機会に恵まれ、幸せを感じています。



## ◆TOKYO KNIT について

東京にしか創れないニットの未来を世界に発信する、それが私たちのミッションです。

TOKYO KNIT は、東京の東部、墨田区本所界隈を中心に事業を展開しているニットファッション製造事業者が、次なる時代のファッション産業のあり方を目指す、新しいものづくりのプラットフォームです。

東京のニット産業の歴史は江戸時代に遡ります。鎖国状態にあった日本は、必要な物資の多くを国内生産に頼る必要があり、戦国時代の終焉とともに訪れた泰平のなかで、武士は刀を捨て、新たな仕事に従事することを迫られました。江戸東部に住んでいた武士は、手編みにより靴下や下着といったメリヤス製品を作るようになり、それが徐々に進化し、明治時代の殖産興業政策により、この地はニット産業発祥の地となったのです。

戦後、ファッション文化の中心となった東京には、多くのデザイナーがアトリエを構え、流通、小売業者も急増。さらに1970年代以降には、東京発のデザインが世界でも高く評価されるようになり、東京のニットメーカーはカジュアルからハイファッションまで、幅広いクリエイションに携わることになりました。東京のニット産業には、歴史と経験に基づく確かな技術力とともに、世界を刺激し続ける東京ファッション独自の創造力を支えるフレキシブルな思想が根付いているのです。

(<https://www.tokyoknit.jp/>)

### (※1) 東京ニットファッション工業組合

ニット生地ならびに製品の製造業を営む中小企業の経営の改善発展、安定、合理化を図ることを目的とし、昭和24年に中小企業等協同組合法のもと、正式に法人格を持つ団体として発足。昭和61年に現在の名称である「東京ニットファッション工業組合」(TKF)と改称、現在約170社の組合員を擁する組織。(<https://www.tkf.or.jp/>)

### (※2) 中小企業組合等新戦略支援事業に係る特別支援「デジタル技術活用による業界活性化プロジェクト」

東京都中小企業団体中央会が実施するポストコロナを見据えてデジタル技術等を活用した新たな手法による団体等の業界活性化の取組を支援し、先進事例として広く発信できる事業創出を強力に後押しして成功に導くことにより、他の団体等が追隨して取り組む潮流を創出するとともに、さらなる業界活性化を目指すプロジェクトです。

(<https://www.tokyochuokai.or.jp/sienseido/jyoseijigyuu/groupsenryaku.html>)

### (※3) TOKYO KNIT ブランド認証制度

東京ニットファッション工業組合(TKF)では、「技術のブランド化」をテーマに、組合員企業の中で、一定の認証基準を満たす企業を、有識者による認証審査委員会(委員長:水野誠一)の審査により『TOKYO KNIT』ブランドの「認証企業」として認証しています。現在、認証されているのは35社。認証企業の一覧については、ブランドサイト

(<https://www.tokyoknit.jp/>)をご参照ください。

## 「TOKYO LOVE KNIT」開催概要

開催日時: 2024年2月16日(金) 17時~19時 ※開場16時 報道受付16時30分~

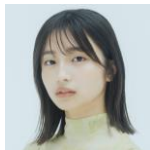
会場: TRUNK(HOTEL) CAT STREET MORI (東京都渋谷区神宮前5-31)

観覧者: 超十代社ネットワークによるクローズド観覧(Z世代100名想定)

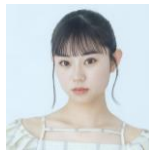
出演者: 「超十代」タレント6名



内山優花 (18)



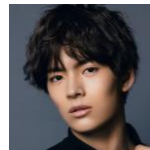
沢田京海 (トメイト) (18)



本望あやか (18)



実熊瑠璃 (18)



植村颯太 (18)



りゅうと (18)

### <プログラム概要(予定)> ※敬称略

17:00 オープニング

17:05 コンセプトムービー上映

17:10 超十代 商品開発 ファッションショー

17:20 トークショー 登壇者(超十代タレント6名、丸和繊維工業株式会社 取締役 深澤信敬、株式会社沼尻テキスタイル研究所 国際研究員 内海雅俊)

17:40 障がい者アートプロジェクトファッションショー

17:55 障がい者アートプロジェクトミニトークショー

・障がい者アーティスト: カミジョウミカ、柴田鋭一/株式会社ズーム 代表取締役社長 加々村征/  
有限会社オフィスホダタ 代表 程田裕平/株式会社フクフクプラス共同代表 福島治

18:05 クイズ企画

18:45 フォトセッション/ (状況により個別質問で調整)

19:00 終了